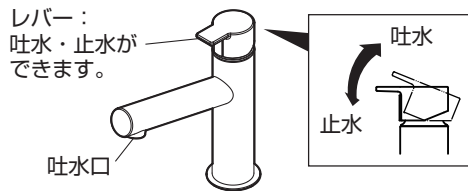


施工・取扱説明書

- 施工・ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工・ご使用ください。
- 施工後、この説明書をお客様へお渡しください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

本製品について 各部の名称・操作方法



施工について 施工手順

1 取付穴周囲のゴミを取除きます。

注意

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

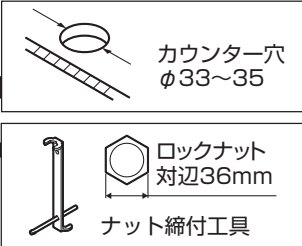
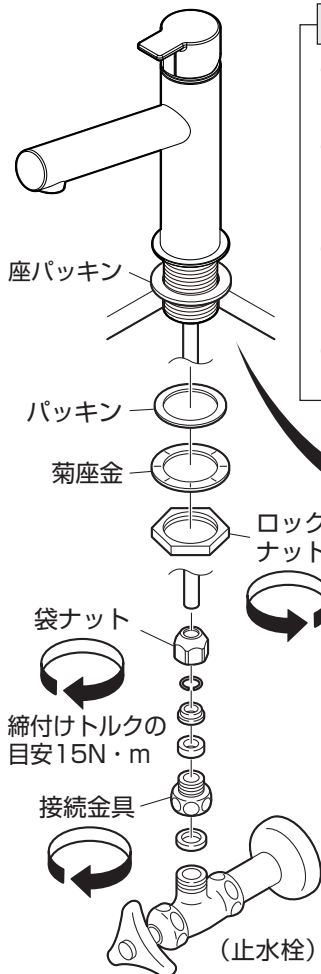
水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、

この場合には有償修理となります。

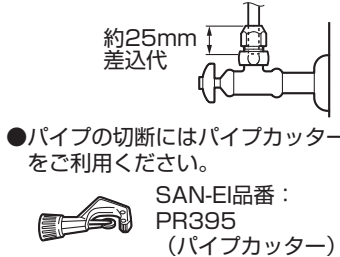
2 新しい水栓を取付けます。

注意

- 取付時にレバーなど可動部分を持たないでください。破損のおそれがあります。
- ゆるみがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、水が漏れることがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。
- 止水栓は必ず設けてください。保守点検のために必要です。



※パイプの差込部分の長さは約25mm確保してください。

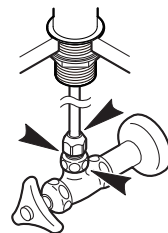


注意

- 部品の順番をまちがえないでください。
- 配管の固定は確実に行ってください。配管の固定が不完全な状態でパイプを接続すると、はずれるおそれがあります。

3 止水栓を開いて水漏れをチェックします。

接続後、各部に水漏れがないか必ず確認してください。
水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。



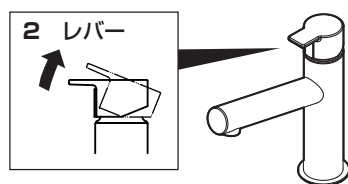
凍結予防について 凍結のおそれがある場合

寒冷地の場合、配管中の水を抜く設備(水抜き栓)とあわせてご使用ください。凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

- 1 元栓を閉め、配管の水抜き栓を開けます。
- 2 レバーを上げます。

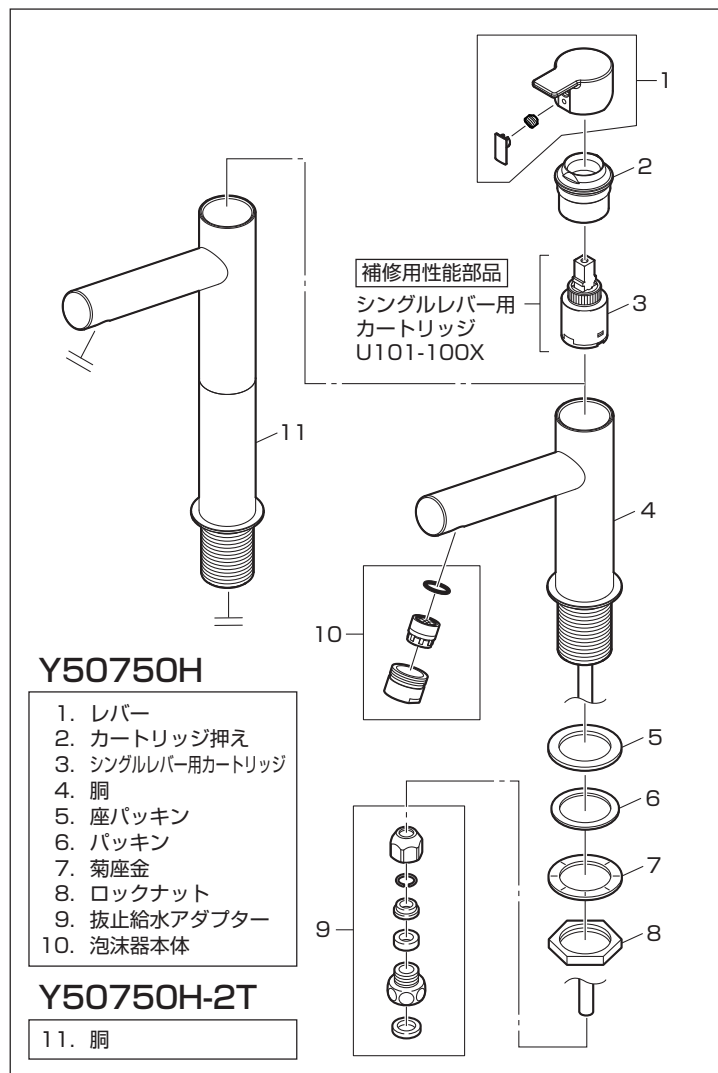
再使用時

レバーを下げて配管の水抜き栓を閉め、元栓を開けます。



こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。



Y50750H

1. レバー
2. カートリッジ押え
3. シングルレバー用カートリッジ
4. 胴
5. 座パッキン
6. パッキン
7. 菊座金
8. ロックナット
9. 抜止給水アダプター
10. 泡沫器本体

Y50750H-2T

11. 胴

本社 〒537-0023
大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お客様相談室 大阪 ☎(06)6976-8661
東京 ☎(03)3683-7496
フリーダイヤル ☎0120-06-9721

SANEI 株式会社

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 東京支店 ☎(03)3683-7471 | 横浜営業所 ☎(045)929-0331 |
| 名古屋支店 ☎(052)800-8688 | 静岡営業所 ☎(054)236-1115 |
| 大阪支店 ☎(06)6972-6981 | 金沢営業所 ☎(076)268-7751 |
| 札幌営業所 ☎(011)782-5353 | 京都営業所 ☎(075)605-5761 |
| 盛岡営業所 ☎(019)605-7301 | 神戸営業所 ☎(078)843-9231 |
| 仙台営業所 ☎(022)258-6251 | 広島営業所 ☎(082)922-3631 |
| 郡山営業所 ☎(024)931-1377 | 松山営業所 ☎(089)905-7866 |
| 新潟営業所 ☎(025)281-1291 | 福岡営業所 ☎(092)674-1230 |
| 東京西営業所 ☎(042)582-7141 | 熊本営業所 ☎(096)385-7161 |
| さいたま営業所 ☎(048)625-4741 | 熊本営業所 ☎(098)869-0890 |